



The Y's MEN's CLUB of



もりおか



<VOL144.2019.12>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP http://www.ymcajapan.org/morioka/ 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

「よりよい明日のために今日を築く」

「アクション」

「勇気ある改革、愛ある行動」

「われら北東部、世界のワイスマンと共に前へ進もう」

「土台を固め未来への扉を開こう！！」

副題「明るい未来へ Let's Go」

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア太平洋地域会長 田中 博之 (日本)
東日本区理事 山田 敏明 (十勝)
北東部長 鈴木 伊知郎 (宇都宮東)
もりおかクラブ会長 三田 庸平

今月の聖句 コリント人への第一の手紙 13章13節



「いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大なるものは、愛である」

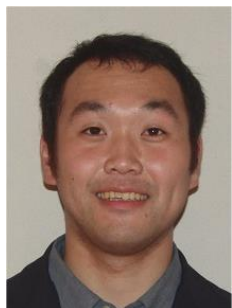
会長 三田 庸平
副会長 長岡 正彦
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 浅沼 慧 (しどう)
中村 渉 (チャン)

1月新年例会のご案内

日時 令和2年1月11日 (第1土曜日) 18時30分
場所 盛岡北ホテル 会費 4,000円
ゲスト 盛岡YMCAリーダーたち、多数。

第二例会、1月18日 (第3土曜日) じよ居 会費、各自

三田会長巻頭挨拶



12月になり、寒さが一段と厳しくなってきました。日中は暖かく日差しが差し込んでいるのがうれしいのですが、夕方は寒いのが辛くてしかたありません。寒暖差により風邪が流行ってきています。またインフルエンザの患者さんも多く流行りつつあります。

うれしいニュースが、もりおかワイスマンズ`クラブ`に会員1名入会いたしました。加藤さんです。会員増強を前々から言っていましたので、1名ですが、うれしく思います。これからも入会者が増えていくように、卓話などでゲストとしてお呼びし、ワイスマンズ`クラブ`を知っていただき、入会していただけるように努力していきたいと思っています。また、現会員にも出席して貰えるように様々な工夫をして出席率も意識していけたらと思っています。

今年もあとわずか、早いものです。今年も皆さんにたくさんお世話になりっぱなしでした。来年も和氣藹々と楽しく元気に活動していけたらと思っています。みなさん、よいお年を！！

12月クリスマス例会の報告

令和元年12月7日(土) 盛岡、北ホテルにて開催、参加者、三田会長、大関、長岡、濱塚、井上、井上優子、山口、魚住、根内、根内真美、古澤、中村(敬称略)。ゲスト、加藤淳さん(南部片富士印、大豆「秘伝」生産者)、安恒史織さん(レモンリーダー)、齋藤七穂さん(おむすびリーダー)、尾河芽生さん(ビリケンリーダー)、齋藤七彩さん(トラックリーダー)、東彩由海さん(マックスリーダー)、吉田莉那さん(アグーリーダー)、佐藤彩苗さん(ほやリーダー)、海和将太さん(あんこリーダー)以上21名の参加で開催されました。

会長の巻頭言にあった通り今月は、加藤淳様のもりおかクラブへの入会式を執り行いました。昨年1月に秘伝豆の紹介の卓話をお願いしてから1年の歳月が過ぎましたが、今年は加藤さんの畑に何度かおじゃまして(ほんとうにじゃまにしかならなかったような気がします。)農作業を手伝いました。加藤さんも盛岡YMCAの各支部に鉢植えの大豆を寄贈してくれたりして交流を重ねていました



加藤淳ワイズ誕生

そして本日、クリスマス例会の日に入会式の運びになりました。ようこそおおかクラブへ、心より大歓迎いたします。一緒にワイズライフを謳歌しましょう。



そして本日は、8名のリーダーが来てくれて、クリスマス例会を楽しく行いました。企画運営はマックス、トラック、おむすびの三人です。SNS 上での言葉「フロリ

ダ」とはなんの事？これはチャット中(メールでの会話)に、「お風呂に入るからチャットから離脱します。」の意味です。とか、小学生の令和のポーズを示してください。これは大変盛り上がりました。井上、山口のチームのボディランゲージや、大関、長岡チームのミニオンのメガネのポーズな

第23回東日本区ワイズメネットのつどい

2019年11月30日(土) 井上 優子

於:日本キリスト教団 毛呂(もろ)教会。講師:深尾 香子(きようこ)様(東京多摩みなみクラブ会長)。



茶筌で一服、いいですね。

「あら、まあ、簡単！茶の湯の易しいおもてなし～日本とヴァチカンの往復書簡より～」メネット委員長澁谷実季ウィメン、夫君澁谷弘祐メン(アジア太平洋地域キリスト教事業主任)が、派遣されている毛呂(もろ)教会を会場に34名が つどいひとときを共有いた

しました。

今年度の国内プロジェクト「YMCA 各施設に絵本を送る運動」資金の助けにとプチマルシェも開催され成功裡に終了。昼食を挟み江戸千家蓮華庵教授「景福庵名倉宗香様」より教えをいただくことに。各テーブルに設えられたお道具を拝見しながら、まず講話。という堅苦しく聞こえますが、初心者にとってはこの上ない平易な言葉での導きです。時にクイズ形式でなんとも見

仙台青葉城クリスマス例会で

井上メン

12月22日(日)仙台 YMCA2 階を会場にクリスマス会が開催され、メネットと参加。3歳～90代がともに祝会を経験しました。手作りの食べ物もおいしく、古巣でのひと時でしたが こどもたちのパフォーマンスにはおおいに楽しませていただきました。なかでも3歳のコメントのすずめ踊りには思わず立ち上がって声援をおくりました。扇を巧みに操り、何より楽しんでいる様子が胸を打ったのでしょう。紙切りを披露するコメント、5人の孫メットの

盛岡旧町名を探索第4話

盛岡の旧町名、今回は「馬町」(うままち)です。先月ご案内した13日町から、一つ南側にずれて平行に通る町です。北側は肴町、南側は下の橋町に現在は改められています。馬産地岩手の名を知らしめた、馬市があった場所です。馬市と言えば、現松尾町にあった馬検場が有名でしたが、馬町の馬市はそれより以前

に発展していたようです。

ど、おじさんたちは四苦八苦。なんと正解は V サインの指を逆さにして額につけるというものでした。若いリーダーたちのクイズに大いに盛り上がりクリスマス例会の夜は更けていきました。メリークリスマス。今年はキリスト教の宗教色は全く無く、いかにも日本人のクリスマスという雰囲気でした。



事な運び方。形にばかり囚われがちな考えを一掃する内容に目から鱗。「大切な人のために自ら汗して働くこと」「ありがとう、お先に、どうぞ」あらゆることに心を込めるお・も・て・な・し。簡単なようで自分はどうなの？と振り返って参加者ほぼ全員が反省の態。簡単なことほど難しいと思った次第です。易しい言葉でのお話でしたが、文献を十分に読み込んだことが伝わってきました。茶の湯はフランシスコ・ザビエルをはじめとする宣教師たちの布教活動と大きなかわりがあったなど、お迎えを前にしてなお、知らざること多しを実感。越生(おごせ)線車中より富士山の眺めを楽しむこともでき嬉しい限りでした。



今年も充実したメネットの集いでしたね。

演奏、中学生のコメントはパソコンの技術を生かした全員参加型のゲームで皆をうならせ、小学生の孫メットは歴史クイズで大人を翻弄し、(私だけかな?)いやはや、一味違った例会を経験することができました。

オークションも子供たちが時に「お父さんに」と献品を落とす様子にこちらの頬もゆるみましました。クラブの例会で盛岡 YMCA のリーダーたちから楽しませてもらっただけでなく、2度もクリスマス例会を楽しむとはおもいがけない令和の12月の思い出となりました。ありがとう

寛永盛岡図に新馬苦勞(ばくろう)丁とあり、万治元年(1658年)に新馬町(しんうままち)と改めました。後に馬町と改め、さらに文化9年(1812年)に馬喰(ばくろう)町と改められたとする説と、そのまま馬町とされたとする説があります。

馬の売買が行われていたことが由来します。当町では万治元年に馬のせり市が行われており、宝永7年(1710年)、藩命によ

り駄馬の売買は当町のみで行われることとした。当初、馬市は、歳市として毎年12月の9日、19日、29日の3回開かれていました。明治3年(1870年)、民部省養馬懸出張所が設置されたが、産馬事業の民有移管により、同14年(1881年)、岩手県産馬事務所が創立され、同事務所が明治23年(1890年)に改組して、盛岡産馬畜産組合が誕生しました。馬町馬検場を中心とする馬市は、同45年(1912年)まで行われ、その後、馬検場は新馬町(現松尾町)に移りました。



馬頭観世音

馬町のシンボルとなっている峰寿院(馬頭観世音)です。現在も1年に1回お祭りがあって大人も子供も地域のシンボル馬頭観音をお参りして伝統を受け継いでいます。

編隊が北の空に向かって飛んで行きました。かなり早いです。ア



和風の旧家

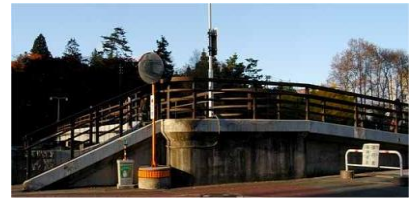


洋風の旧家

通りを歩くと、写真のような和風の古い住宅や、庭の赤松が堂々と立つ、洋風の旧家などがあり、いい雰囲気を感じさせています。買い物のついでに、一度訪れてみてください。



お祭りの様子



まっすぐ岩手公園に向かうと毘沙門橋

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

12月の出席率	11/13	78%	ゲスト8名	ビジター2名	メネット 2名		
メーキャップ	1	名		12月切手	95	g	累計 498 g
12月のにこにこ	11,000	円	累計	円	焼きそば	12,000	円 累計 42,000 円
12月 石鹸	1,800	円	累計	0	りんご	0	円 累計 0 円
12月 献金	0	円		ファンド合計	30,000	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

12月のハッピーバースデー 菊池 崇江さん、お誕生日、おめでとうございます。

盛岡探索2019年総集編

2019年が終わろうとしています。今年の盛岡探索に記事を総集編で振り返ってみたいと思います。

1月 復活! 川目小学校の氷のモニュメント



3年前に廃校になった盛岡市立川目小学校、山王小学校に併合しました。毎年恒例になっていた小学校前の氷のモニュメントも制作を

止めて、ひっそりと寂しい冬を過ごしていましたが、地域のOBや親御さんたちが今年、モニュメントを復活させました。

雪が少なかった昨年の冬、寒さは平年並でしたので汲み上げた水はどんどん凍り、見事な氷柱が出来上がっていました。

2月 冬はもう終わりですね、白鳥が北帰行開始!

3月と言えば、そうです白鳥の北帰行開始です。2000Km あなたのシベリアから越冬するために日本列島まで渡って来た白鳥、各地で思い思いに羽を休めていましたが、この暖かさで旅立ちを始めそうです。2月25日、「あ、飛んできた。」玄関を出た瞬間あの声が聞こえてきました。車庫から飛び出し、空を見上げた瞬間、10羽程度の群れが3つ、一列と、カギの型、くの字型の



ツという間に雲のかなたに消えていきました。「やっぱり今年の冬はもう終わりなのですね、無事にシベリアにたどり付く事を願います。またね、次の冬にまた合おう。

3月 動き出した大沢川原!



塩釜馬具店の新店舗

大沢川原の再開発に反対して、立ち退きを拒否していた塩釜馬具店と坂本製作所が、いよいよ立ち退きに応じて旧店舗が解体されました。塩釜馬具店は奥に新築して新しい店になり、坂本製作所は引っ越しました。軽自動車に対抗出来ないほど狭かった大沢川原は2車線の車道と、広い歩道が整備されようとしています。この先には中津川があり。擬宝珠の下の橋がありますこの道路をどこに繋ごうとしているのか意味がわかりません。

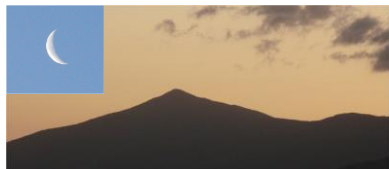
4月 復活、いちご大福「一心堂」

明治橋もとにある「一心堂」が復活していました。このお店は大福の専門店、いちご大福が有名でした。閉店してもう17年もたっていました。先代の息子さんが定年退職のあと、店を再開したとの事、1年半も気が付きませんでした。行ってきました、

いちご大福を買ってきました、食べました。大粒のいちごを餡と餅で優しく包み、なんとも言えない食感です。美味しくいただきました。私が良い店と思うのは、ノスタルジアを感じる店です。もっと、もっと盛岡を奥深く発掘して行きます。



5月 緑の街の夜明け、姫神山のシルエット



爽やかな季節がやってきました、盛岡の5月は緑の風が吹き抜けます。乾いた風に運ばれる藤の花の香り。見上げれば陰りの無い雲、

残雪の岩手山。一年で一番爽やかな季節です。

夕暮れの岩手山のシルエットも素敵ですが、夜明け前の姫神山のシルエットもまた素敵でした。5月30日、夜明け前の岩山公園に行ってみました。朝日を浴びる盛岡はどんな風景か、見たかったです。姫神山から右に視線を向けると、そこには一足先に月が昇っていました。下弦の月です。なぜか船に見えました。

6月 お休みをいただきました。

7月 創業45年、昭和のお店発見！



ノスタルジア、中山商店

中山商店と言います。女将さんが一人できりもりしています。お店の外は鉢植えのお花屋さんです。春先からお花が溢れておりました。先月の盛岡探索で紹介予定だったお店です。現代はコンビニが普通で、「ごめんください」と入って店番のおばちゃん相手に駄菓子や果物を買うという行為はまったくありませんが、このお店はそういうお店なのです。懐かしいでしょう。子供110番のお店の指定を受けていて、事件や事故に巻き込まれそうな子どもたちの駆け込み寺にもなっています。

8月 重厚な建築物、盛岡信用金庫本店



盛岡市中の橋通りにある、盛岡信用金庫本店。重厚な花崗岩で造られた建物です。観光スポットとして道路の斜め向かいにある旧岩手銀行な中の橋支店の赤レンガ館が有名です。しかし、ここも古い建物として引けをとれません。現役の信用金庫の営業をしていますから、防犯上の理由で内部の写真撮影は禁止です。残念でした。現代の小綺麗な金融機関の営業窓口とは違い、いにしへの空間にタイムスリップしたような感覚になります。いつの日か赤レンガ館

編集後記

今日は27日。最後の編集後記を書いています。加藤淳さんが入会してくれました。嬉しいです。ターゲットの方にワイズメンズクラブとは？と聞かれると、いまだに明確な説明ができない現状です。もう何年も前からの課題です。私自身は盛岡 YMCA との

のようになり多くの市民や観光客に開放される時が楽しみです。

9月 盛岡の旧町名を探索第1話

第一回は「肴町」(さかな)「御幸新道」(みゆきしんどう)「生姜町」(しょうが)です。皆様ご存知の「ホットラインサカナチョウ」盛岡で唯一のアーケードが掛かった商店街です。ここが「肴町」。肴町の中央付近、ミスタードーナツの交差点で肴町にクロスする道が「生姜町」、さらに生姜町の南側、細い路地のような通りが「御幸新道」です。ナナックが閉店した現在、商店街をけん引している店



が「総合衣料のみかわや」です。さかな館、みゆき館、しょうが館の3店舗で営業しています。あまりの身近さに旧町名のことなど全く意識していませんでしたが、ふと気付くと長い歴史の呼び名の町名を現在に残してくれていました。

10月 盛岡旧町名を探索第2話

ホットライン肴町のアーケードを北側に外れて、国道の反対側にあるのが「葺手町」(ふくてちょう)です。ここは盛岡の昔ながらの佇まいを現代にそっくり残しています。老舗そばや「東屋」、盛岡りんごの販売所、さかなやさん、レトロ感あふれる長屋風の建物。何しろ、この通りから横につながるの「愛染横丁」なんともおもむきがあるではありませんか。現在の町名は中の橋町。



老舗そば「東屋」



愛染明王院

11月 盛岡旧町名を探索第3話



ホットラインサカナチョウの南側の終わりりとクロスしている通りが「十三日町」(じゅうさんにちまち)です。この現在の町名は肴町となっています。十三日町は、毎月13日が市日であったことに由来。この通りには、十三日(とみか)と呼ぶ商業施設があります。このまちに建つ築120年以上と思われる建物を古い姿をなるべくそのままにリノベーションし、人々に親しまれてきた愛称を受け継いでいます。飲食店やシェアオフィスの他に、皆様に使ってもらえる余白のあるギャラリーやフリースペースもあります。どうぞ、一度言ってみてください。

関わりや、会員との人間関係が大好きで不満どころかどっぷり浸かって、とてもいい感じなのですが、一般の方々にもどのように伝えていけばいいのでしょうか？だれか教えて下さい。

生きている、有効なお金の獲得に向けて、来年はもっと商売に徹して行きます。みなさんよろしくおねがいします。長岡。